



平成23年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名 ユニパルス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6842 URL <http://www.unipulse.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)吉本 喬美  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営統括本部長 (氏名)和田 倫幸 TEL 03-3639-6120  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第1四半期の連結業績 (平成22年10月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第1四半期	1,005	8.8	126	—	135	—	75	—
22年9月期第1四半期	924	21.6	4	—	11	—	2	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第1四半期	15.11	—
22年9月期第1四半期	0.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第1四半期	8,065	4,695	58.2	939.01
22年9月期	7,977	4,693	58.8	938.96

(参考) 自己資本 23年9月期第1四半期 4,693百万円 22年9月期 4,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年9月期	—	—	—	—	—
23年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想 (平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,496	35.7	324	512.3	335	377.3	233	—	46.61
通期	4,842	28.2	640	199.7	662	170.6	486	573.6	97.23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 — 社 ( )、除外 — 社 ( )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年9月期1Q	5,377,500株	22年9月期	5,377,500株
23年9月期1Q	378,800株	22年9月期	378,800株
23年9月期1Q	4,998,700株	22年9月期1Q	5,214,257株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、景気の回復傾向が見られるものの、引き続き設備投資の低水準での推移や厳しい雇用環境、急激な円高や株安の進行の懸念等、依然先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、前期に引き続き中国市場をはじめとした海外への積極的展開等を行いました。なお、急速な発展を遂げ今後も更なる成長が見込まれる中国市場における販売拡大及び顧客サービスの質・量・スピードの向上等を目的として、中国に販売拠点となる子会社「ユニパルス貿易(無錫)有限公司」を設立し、平成23年1月1日より営業を開始しております。

さらにより一層の経営効率の改善及び経費削減を図るため、当社横浜事業所を平成22年10月18日に神奈川県横浜市中区に移転いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,005百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は126百万円(前年同期は営業利益4百万円)、経常利益は135百万円(前年同期は経常利益11百万円)、四半期純利益は75百万円(前年同期は四半期純利益2百万円)となりました。

## 電子機器製造事業

前期に引き続き中国市場等をはじめとした海外への積極的展開等によりウェイング・FA(ファクトリーオートメーション)計測機器等の高採算製品が堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は840百万円(前年同期比15.5%増)、営業利益は118百万円(前年同期比626.8%増)となりました。

## 電設事業

建設市場規模の縮小に伴い新規顧客の開拓に努めたものの、当第1四半期連結累計期間の売上高は164百万円(前年同期比16.3%減)となりましたが、固定費の削減、小口工事への積極的な営業展開及び原価低減等に努めたこともあり営業利益は7百万円(前年同期は営業損失12百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

流動資産は、前連結会計年度末より92百万円増加し、5,834百万円となりました。これは主に、現金及び預金が209百万円、受取手形及び売掛金が11百万円減少したものの、仕掛品が159百万円、原材料及び貯蔵品が88百万円、完成工事未収入金が65百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末より3百万円減少し、2,231百万円となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却等により22百万円減少したものの、ユニパルス貿易(無錫)有限公司への関係会社出資金24百万円等により投資その他の資産が19百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末より191百万円増加し、1,582百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が70百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が181百万円、工事未払金が53百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末より104百万円減少し、1,787百万円となりました。これは主に、長期借入金が98百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2百万円増加し、4,695百万円となりました。これは主に、四半期純利益と配当金の支払いにより利益剰余金がほぼ変動しなかったことと新株予約権が2百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月22日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより営業利益及び経常利益はそれぞれ750千円、税金等調整前四半期純利益は3,839千円減少しております。

#### ② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,456,096	3,665,857
受取手形及び売掛金	1,000,604	1,012,590
完成工事未収入金	82,856	16,956
有価証券	5,030	5,029
商品及び製品	78,671	79,894
仕掛品	649,629	490,172
原材料及び貯蔵品	406,003	317,389
未成工事支出金	58,753	37,925
繰延税金資産	78,496	95,045
その他	21,118	28,333
貸倒引当金	△2,423	△6,469
流動資産合計	5,834,839	5,742,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	579,312	587,405
土地	920,996	920,996
その他(純額)	151,841	153,823
有形固定資産合計	1,652,150	1,662,225
無形固定資産		
のれん	4,662	15,436
その他	20,723	22,648
無形固定資産合計	25,386	38,085
投資その他の資産		
投資有価証券	15,900	15,889
関係会社出資金	24,405	—
繰延税金資産	18,773	18,270
投資不動産(純額)	197,967	198,677
その他	303,132	307,809
貸倒引当金	△6,571	△6,575
投資その他の資産合計	553,607	534,071
固定資産合計	2,231,144	2,234,381
資産合計	8,065,983	7,977,106

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	763,359	581,631
工事未払金	77,890	24,710
1年内償還予定の社債	40,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	488,440	488,440
移転損失引当金	—	9,571
その他	212,618	176,609
流動負債合計	1,582,308	1,390,961
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	1,151,360	1,249,700
退職給付引当金	37,090	38,371
役員退職慰労引当金	14,700	13,650
負ののれん	76,114	82,418
長期未払金	295,543	295,543
その他	12,870	12,902
固定負債合計	1,787,679	1,892,586
負債合計	3,369,988	3,283,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,733,612	1,733,612
資本剰余金	1,733,505	1,733,505
利益剰余金	1,419,230	1,418,671
自己株式	△187,057	△187,057
株主資本合計	4,699,289	4,698,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,461	△5,172
評価・換算差額等合計	△5,461	△5,172
新株予約権	2,167	—
純資産合計	4,695,995	4,693,558
負債純資産合計	8,065,983	7,977,106

(2) 四半期連結損益計算書  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	924,415	1,005,327
売上原価	547,660	511,746
売上総利益	376,754	493,580
販売費及び一般管理費	372,108	366,896
営業利益	4,646	126,684
営業外収益		
受取利息	1,697	3,152
受取配当金	2	1
負ののれん償却額	6,303	6,303
不動産賃貸料	8,619	6,862
その他	1,322	1,500
営業外収益合計	17,946	17,821
営業外費用		
支払利息	9,112	7,328
不動産賃貸費用	1,884	1,268
その他	586	802
営業外費用合計	11,582	9,399
経常利益	11,010	135,106
特別利益		
固定資産売却益	269	—
貸倒引当金戻入額	—	4,050
新株予約権戻入益	1,330	—
移転損失引当金戻入益	—	205
特別利益合計	1,599	4,256
特別損失		
固定資産除却損	10	196
投資有価証券売却損	50	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,089
特別損失合計	60	3,286
税金等調整前四半期純利益	12,548	136,075
法人税、住民税及び事業税	3,109	44,490
法人税等調整額	7,307	16,045
法人税等合計	10,417	60,536
少数株主損益調整前四半期純利益	—	75,539
四半期純利益	2,130	75,539

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。